



明化の教育

3月号（第509号）
令和5年3月1日
文京区立明化小学校
校長 熊倉 勝

6年生が自分のよさを改めて実感する機会に～6年生を送る会～

校長 熊倉 勝



3年ぶりに対面式で行った6年生を送る会は、心が通い合う心温まる会となりました。

3年ぶりに6年生を送る会が対面式で行われました。新型コロナウイルス感染症対策で体育館に全校児童が集まることは控えているため、1～5年生を半分に分けて、2部制で行いました。体育館の前面に並んだ6年生の姿は、1～5年生にとってはとても大きく感じたことでしょう。小学校6年間の成長の跡を確かに感じました。

各学年の出し物は、感謝の気持ちが伝わる工夫された素晴らしいものでした。その中でも圧巻だったのが、5年生による6年生一人一人への感謝の言葉です。これは、明化小学校で長く行われてきている伝統の出し物です。緊張した面持ちの中で話す5年生に対して、笑顔で聴く6年生。本当に微笑まし

く、心温まる瞬間でした。互いの思いは、直接顔を合わせたからこそ大きくなり、しっかりと伝わったのではないかと思います。改めて対面することの大切さを実感しました。5年生の感謝の言葉は、送られてうれしい感心させられる内容ばかりでした。子供たちは、本当にお互いをよく理解しているものです。これまでの温かい関わりがあったからこそ、5年生の感謝の言葉は6年生のよさをしっかり捉えられていたのでしょう。6年生も自分のよさを改めて感じ、新たな中学校生活に向けての自信につながったことと思います。また、6年生一人一人のよさ、頑張りを会場にいる全員で共有することができたことも子供同士の温かな関係作りを後押しするものと感じます。これから6年生の卒業に向けての取組は続きます。希望をもって笑顔で本校を巣立つことができるように、締めくくりの1か月を大切にしていきたいという思いを強くしました。

今年度の「学校評価」がまとまりました。保護者・地域の皆様には、学校評価に対しご協力をいただき、ありがとうございます。本校の教育活動については、95%の方から「満足」とご回答をいただきました。コロナ禍でも「子供たちの学びを止めない」ことを第一に考え、可能な限り通常に近い形で教育活動に工夫して取り組んできたことに対して一定の評価をいただき、学校との信頼関係は良好に構築されているといえます。また、器楽部や俳句創作、多様な体験活動など「特色ある教育活動」については、昨年同様98%の保護者から「満足」との回答をいただいています。

一方、「返事、挨拶、ありがとう、後始末」について児童、保護者の肯定的回答はそれぞれ87%、92%と、共に昨年度より3ポイント低い結果となりました。ここ2年間、上昇傾向だっただけに残念な結果です。「挨拶」については、「明化小から地域へ」を合言葉に代表委員会を中心に児童が主体となった活動を工夫して実施し、児童の意識を更に高めていきたいと考えます。また、校庭がなく運動場所が制限される中での児童の体力の維持・向上も引き続き大きな課題です。学校評価の詳細につきましては、別に文書で報告いたしますのでご覧ください。

新校舎建設工事も順調に進み、7月にはI期工事が終わり、体育館、プール、給食室（地下）、子ども園（明化幼稚園）が完成します。そして、来年度2学期からはいよいよ新しい体育館と給食室を使用します。また、再来年度の開校150周年に向けての活動も始めていきます。開校148周年という受け継がれてきた伝統を大切にしつつ、新しい歴史を自分たちで創り上げる気概をもったやり通す明化の子供を育成して参ります。来る令和5年度も明化小学校にどうぞ変わらぬご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。一年間のご支援に心から感謝いたします。